

奄美海上保安部便り 第71号

- ・第71号は2024年2月から2024年5月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



令和6年度鹿児島県総合防災訓練

5月26日、名瀬港周辺地域にて鹿児島県知事を訓練統監、奄美市長を副統監とし、鹿児島県、自衛隊、国交省、総務省、経産省、気象庁、警察、消防、海保、医師会、九州電力、建設業協会等各防災関係機関と地域住民が参加し、大規模地震、津波を想定した「令和6年度鹿児島県総合防災訓練」が開催されました。

本訓練には奄美海上保安部、古仁屋海上保安署各巡視船艇と第十区海上保安本部長も訓練統監付として参加されました。



巡視船あまぎ、巡視艇いそなみによる一斉放水



巡視艇いそなみ潜水士により溺者を救助し、ゴムボートにて巡視船あまぎに搬送中

～ 読者アンケート依頼 ～

皆様からご意見を取り入れ今後の業務に生かしていくため、読者アンケートを始めました。今回はマリンレジャーに関するものです。より良い事故防止対策につなげるため、一人でも多くの方のご協力をよろしく御願い申し上げます！

御家族、御友人、お知り合いの方にも、ぜひお伝えください。



スマートホンでQRコードを読み込んでアンケートスタート



お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811



巡視艇いそなみによる物資輸送



海保PR ゴーグルを楽しむ子供達



川商ホール海保ブース視察中の県知事に説明中の十管本部長



訓練統監（県知事）講評

令和6年度「奄美群島排出油防除協議会」及び「奄美群島地区海難防止活動推進連絡会議」の役員会開催

5月28日、奄美群島各首長等が一堂に会し、海上保安部が事務局となっている令和6年度の「奄美群島排出油等防除協議会」及び「奄美群島地区海難防止活動推進連絡会議」の役員会が開催され、本年度の実施計画がそれぞれ承認されました。



奄美群島排出油等防除協議会役員会



奄美群島地区海難防止活動推進連絡会議役員会



巡視船「あまぎ」宝島入港及び宝島小・中学校児童生徒による見学

3月13日、巡視船「あまぎ」は、離島での災害や事故に備え、吐噶喇列島の宝島の前籠漁港に入港・着岸、地勢慣熟及び港湾調査等を行いました。



前籠港へ入港中の「あまぎ」



前籠港で着岸中の「あまぎ」

また、急遽、十島村町立宝島小・中学校校長から船内見学の依頼を受け、教諭と児童生徒9名に対し、船内見学と業務説明を実施しました。見学の模様は宝島小・中学校のブログにも掲載紹介されました。



フェリーとしま2火災時の曳航状況を説明中



奄美市議会議員による巡視船「あまぎ」見学会

3月17日、奄美市市議会議員の皆様10名に対して巡視船あまぎの見学会を行いました。当日はあいにくの雨となりましたが、熱心に説明を聞いて頂きました。



「フェリーとしま2」通常運航を再開

昨年12月29日、悪石島沖でエンジンルーム火災により航行不能となり、奄美海上保安部の巡視船「あまぎ」などが曳航救助にあたった十島村の「フェリーとしま2」の修理が完了し、4月12日から通常運航を再開し4月13日に名瀬港に入港しました。



巡視船「あまぎ」に曳航される「フェリーとしま2」

海難救助の感謝状を贈呈（その1）

3月12日、奄美市笠利総合支所において、2月18日に発生した奄美大島東方の遊漁船浸水沈没事故に際して、乗客、乗員7名全員を救助し人命救助に多大な貢献をいただいた遊漁船「鯉魚島（アルカトラス）」船長に対して、奄美市救難所笠利支所長立会いのもと、奄美海上保安部長から感謝状を贈呈しました。



鯉魚島船長と奥様とともに記念撮影

海難救助の感謝状を贈呈（その2）

5月13日、喜界町役場において、4月20日に発生した喜界島湾港沖防波堤工事の作業船転覆事故に際して、海に投げ出された乗組員6名全員を救助し人命救助に多大な貢献をいただいた漁船「よし丸」船長（85歳）に対し、喜界救難所所長（喜界島町長）、同副所長（喜界漁協組合長）立会いのもと、奄美海上保安部長から感謝状を贈呈しました。



よし丸船長とご家族とともに記念撮影



異動時期におけるテロ警戒と海難防止活動等

◇フェリーターミナル等における警戒活動

定期異動者で人の往来が活発となる3月29日、4月1日名瀬港フェリーターミナル、フェリー波之上及びフェリーきかい船内において、テロ行為の抑止を目的とした警戒を実施するとともに、奄美大島に赴任される方に対して海難防止を呼びかけました。



名瀬港フェリーターミナル



船内不審物警戒

◇あまみエフエム（77.7MHz）に生出演による赴任者に向けた啓発活動

4月4日、交通課長と警備救難課職員があまみエフエムに生出演し、奄美大島赴任者に対して、奄美のきれいな海で遊ぶ時の離岸流やシュノーケリング等に関する注意事項と潮干狩り等で注意すべき知識について詳しい説明を行いました。



海難の発生状況

◇喜界島で工事作業船転覆

4月20日1630頃、喜界島湾港沖防波堤工事に従事していた6人乗作業船が作業台船から離船する際、係留索の緊張により船体が傾き転覆しました。

乗組員6人は転覆船上に這い上がり救助を要請し1637救難所所属船にて6人全員とも救助され、怪我等はありませんでした。

なお、転覆船は21日早朝沈没し、船体は22日に引き揚げられました。



沈没した作業船の状況

◇シーカヤック行方不明事案（現在も消息不明）（GW期間）

5月2日、加計呂麻島へシーカヤックで行くと言っていた50歳男性が夕方退社後から行方不明となっており、行方不明者の車は瀬戸内町の海岸公園駐車場で確認されていますが、現在も消息不明のままの状況です。

◇沖永良部島沖泊海浜公園で遊泳中に流される（GW期間）

5月3日沖永良部島沖泊海浜公園に友人3名で訪れて遊泳していた17歳の女性1名が沖に流され戻れなくなり、友人が助けを求め、消防団員に無事救助されました。

幸いに怪我はありませんでした。



◇沖永良部島沖でヨット舵故障

5月8日午前8時頃、6人乗りヨットから、「沖永良部島知名港を出港して2時間程たったところで、航行不能になった」と、118番に救助要請がありました。

ヨットは水難救済会知名救難所所属船により沖永良部白浜港まで曳航され救助されました。



◎「釣り中の海中転落事故増加～必ず救命胴衣の着用を！！～」

◇その1 与論港茶花フェリー岸壁南側で男性釣人が海中転落

釣り人は5月18日0950頃、自身の水くみバケツのロープが絡まっているのを解こうとして岸壁から身を乗り出したところ、誤って足を滑らせ海中転落したものです。近くにいた釣人が救命浮環を投げてそれにつかまっていたところ、119番通報でかけつけた消防署与論分遣所救急隊により1010頃、岸壁上に引揚げ救助されました。釣り人は幸いに擦過症程度の軽傷でした。

◇その2 名瀬港観光船岸壁付近で男性釣人が海中転落

釣り人は5月19日1025頃、名瀬港観光船岸壁北側突堤で釣り中に誤って足を滑らせ海中転落したものです。釣り人の妻から保安部に通報があり、巡視船あまぎ乗組員及び保安部職員が現場に急行し1056救助、1058救急隊に引き継ぎました。釣り人に意識はありましたが病院に搬送され1日の入院となりました。

上記2件の海中転落者は両名とも救命胴衣未着用でした。夏季で海水温度も高く、風も弱く、発見、通報が早く軽傷ですみましたが、岸壁から落ちると付近に上がれるところもなく非常に危険ですので、釣りをする場合には、万が一に備え必ず救命胴衣の着用をお願いします。



ばしゃ山村、大浜海浜公園の海開き

4月11日（旧暦の3月3日のウナグヌセック）にあわせて、ばしゃ山村、大浜海浜公園で、海開きの神事が行われ、保安部長及び次長がそれぞれ参列し海の安全を祈願しました。

沖合警戒中の巡視船かいもん



ばしゃ山村

沖合警戒中の巡視艇いそなみ



大浜海浜公園

奄美の海でたのしく遊ぶためのお約束！

Please keep your promise to enjoy in the sea of Amami Islands

ライフジャケットをつけましょう！

Please wear a life jacket

ひとりで泳がないようにしましょう！

Please do not swim alone

天気がわるい日は海に入らないようにしましょう！

Please do not go into the sea on bad weather



詳しくはこちら

奄美高等学校（イラスト協力）



GW期間中の事件、事故ゼロをめざして

奄美海上保安部、古仁屋保安署は、春季大型連休安全推進活動期間（4/27～5/6）にあわせ関係機関と連携し積極的に海難防止活動に取り組みました。

残念ながら同期間において奄美群島内では遊泳中の人身事故が1件、シーカヤックの行方不明が1件発生しました。

[主な取組み状況]

◇奄美空港における事故防止呼びかけ



機内でもアナウンスをお願い
しています！

- 一人で海に入らない
- 救命胴衣を着用する
- お子様から目を離さない

4月27日、奄美空港において奄美警察署、大島地区消防組合とともに来島者へマリンレジャーの事故防止を呼びかけました。

また、各航空会社に協力していただき、機内アナウンスでも事故防止の呼びかけを実施しています。

◇各ビーチ、ショップ等への啓発



ウォーターセーフティガイドをPR

◇徳之島・沖永良部空港等における安全啓発活動

4月26日、徳之島空港において、徳之島警察署、徳之島地区消防組合及び沖永良部空港において沖永良部警察署、沖永良部与論地区広域事務組合と合同で、観光客等来訪者に対してマリンレジャーの事故防止を呼びかけました。

徳之島、沖永良部の各警察、消防と海保は、本年2月に「海浜事故の未然防止に関する協力」を盛り込んだ「水難事故の救助に関する覚書」を改正調印後、初めての共同活動となりましたが、観光客の増加する時期を迎え、今後も更に連携を深めていくことを確認しました。

また、徳之島観光連盟にも海難防止啓発の協力をお願いしました。



◇あまみエフエム生出演による啓発活動

GW前の4月25日、交通課職員が生出演し、マリンレジャー中における一人遊泳の禁止やライフジャケット着用等安全対策を呼びかけました。



◇フェリーターミナル警戒

GW期間中のテロ行為の抑止及び犯罪の未然防止を目的として各フェリーターミナルで警戒を実施しました。



◇海上安全指導員との笠利湾での合同パトロール

5月5日の午前中、海上安全指導員（有川氏、井氏、前田氏）が操船する水上バイクと小型船に同乗し、笠利湾内各ビーチで海上安全啓発活動を実施しました。



◇赤木名小学校児童に対する海上安全教室

5月5日午後、海上安全指導員とともに赤木名海岸において、赤木名小学校児童12名に対して海上安全教室を開き、海で遊ぶ時の注意事項、ライフジャケット着用等の授業を行いました。





龍北中学校との漂着ごみ分類調査及び海岸清掃

4月25日午後、龍郷町嘉渡海岸において、龍郷町立龍北中学校（生徒8人、教職員6人）と共に、漂着ごみ分類調査及び海岸清掃を実施し、約30kgの漂着ごみを回収しました。



プラスチックの
ゴミが多いなあ



プラスチックのごみは、波や紫外線などの影響を受けてもろくなり、砕けて小さな破片となります。海の生物は、ごみを区別することができずに、プラスチックごみを誤飲することがあります。特に、プラスチックが劣化して細くなった、マイクロプラスチックを海の生物が取り込むことで、生態系への悪影響も心配されています。



※マイクロプラスチックとは、自然環境中で破砕・細分化されて、微細なプラスチック（5mm以下）になったものです。





職場体験学習 ～未来の海上保安官を獲得すべし～



大山崎灯台の保守業務体験



鑑識業務体験

5月14日、未来の海上保安官を獲得すべく奄美市立名瀬中学校3年生男子生徒4名による職場体験学習を実施しました。

職場体験を終えた生徒から「海上保安官にはいろんな仕事があるのがわかり、将来の選択肢が増えた」と期待できる言葉をもらえました。近い将来、我々の仲間になってもらえることを楽しみに待っています！



職場体験学習修了証書授与



Q

海上保安官になるには？

海上保安大学校、海上保安学校という 選択肢があります。

A



海上保安官には、巡視船艇での勤務などの海上勤務だけでなく、本庁や管区本部などでの陸上における勤務や海外での勤務など、様々な活躍の場があります。このような舞台で活躍する海上保安官には、幅広い知識や技能だけでなく、特殊な業務を行うための専門的な能力も求められるため、海上保安官を養成するための教育機関である海上保安大学校や海上保安学校での学びが必要です。どちらも、学校という名前がついていますが、入学と同時に国家公務員としての身分が与えられます。そのため、海上保安大学校（本科）と海上保安学校は毎月約15万円、海上保安大学校（即任科）は毎月約18万円の給金が支給されます。両校ともに全寮制で、規律ある団体生活を営みます。学生は、この団体生活を通じて、正義に愛の精神、リーダーシップ・チームワークの体得や気力・体力の醸成を図ります。



海上保安庁
Japan Coast Guard

詳しくはコチラ → [海上保安庁 採用](#) 



詳しくはこちら



巡視船「あまぎ」救助訓練

2月16日、奄美市の朝仁海岸で、巡視船あまぎの海面救助員2名が救助訓練を行いました。北からの強風と波浪で白波に巻き込まれながら、基礎訓練や岩場に取り残された孤立者の救助訓練など、実践を想定した訓練を行い、救助能力の向上に努めました。



ドルフィン訓練



孤立者救助訓練



海面救助員と訓練支援スタッフ



巡視船「かいもん」の急患輸送訓練及び急患輸送対応2件

4月27日、巡視船かいもんは、急患輸送の要請にいつでも問題なく対応できるように、急患搬送作業訓練を実施しました。

4月28日に喜界島から名瀬港まで、また、5月12日には、沖永良部島から沖縄県那覇港までの急患輸送の要請に対応し、無事に医療機関へ引継いでいます。



訓練状況



訓練状況

<実際の急患輸送の状況>



名瀬港にて救急隊に患者を引き継ぐ様子
4月29日午前1時08分頃



和泊港にて患者と医師を引き受ける様子
5月13日午前2時15分頃



巡視艇「いそなみ」訓練模様

古仁屋保安署巡視艇いそなみには潜水士が5名配置されており、何時でもどんな事案にも対応できるよう日々訓練を重ね、緊急時に備えています。



4/29 潜水搜索訓練



5/10 潜水搜索訓練



5/20 いそなみ乗組員によるレンジャー訓練



5/22 救助者揚収訓練



奄美海上保安部、古仁屋海上保安署幹部紹介

4月15日付けで奄美海上保安部長が交代し新たなメンバーとなりましたのでご紹介します。



おおば いさお

奄美海上保安部長 **大場 伊佐大**

次長（管理、警救） **池田 栄作**

次長（交通） **平原 倫典**

古仁屋海上保安署長 **西 文久**

奄美海上保安部長の大場です。

奄美海上保安部、古仁屋保安署は職員一丸となって奄美群島及び周辺海域の皆様の安全安心のため誠心誠意尽力して参ります。今後とも「オール奄美」の精神で、ご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます！

管理課長 **奈須 寛之**

警備救難課長 **村上 勇**

交通課長 **古川 忠文**

台風シーズンが到来しました、十分な備えをお願いします！

6月21日～6月30日を「台風海難防止強調運動期間」とし、各船舶、海事関係者、マリンレジャー愛好者に対して安全啓発を行い、これから迎える本格的な台風シーズン期間中の事故ゼロを目指します。

来るぞ台風！ 備えはよいか？

走錨注意！

- 1 大型船は安全な海域へ早期避難
- 2 小型船舶は陸揚げ・固縛
- 3 港内避泊の場合は係留強化

台風対策は早めの備えが重要です！
作業中はライフジャケットを着用して自身の安全も守りましょう！

台風海難防止強調運動

南九州海難防止強調運動推進連絡会議

台風海難を防ぐためには・・・

- 1 大型船は安全な海域へ早期避難

事例1※ は、時間に余裕を持って安全な海域に避難してれば、防ぐことのできる海難でした。VHFの常時聴取はもちろん、錨泊をする場合は走錨にも十分注意してください。
テレビやラジオ、海的安全情報等を利用し、最新の情報収集に努めましょう。
- 2 小型船舶は陸揚げ・固縛

事例2※ の台風は非常に強い勢力でしたが、陸揚げしていた船舶への被害はありませんでした。
小型船舶は陸揚げ・固縛が一番です。大切な船を守るためにも万全な対策をしましょう。
- 3 港内避泊の場合は係留強化

事例2※ の中でも隣どおしの船舶を寄せ合っただけ係留強化していた船舶は比較的少ない被害で済みました。
陸揚げが困難な場合には、台風の影響が少ない港内の船舶密集エリアで係留を強化しましょう。

自己救命索3つの基本も忘れずに！

- ライフジャケットの常時着用
- 連絡手段の確保
- 海の緊急通報 **118番**



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署

海を舞台に、
夢は広がる。

2024年度 採用試験のスケジュール

幹部海上保安官になる

海上保安大学校

幹部海上保安官として様々なフィールドで活躍

海上保安官採用試験	大卒程度
インターネット受付期間	2/22(木)～3/25(月)
第一次試験	5/26(日)

海上保安大学校学生採用試験	高卒程度
インターネット受付期間	8/22(木)～9/4(水)
第一次試験	10/26(土)及び10/27(日)

現場第一線の海上保安官になる

海上保安学校

各分野のエキスパートとして現場最前線で活躍

海上保安学校学生採用試験(特別)	高卒程度
インターネット受付期間	2/22(木)～3/11(月)
第一次試験	5/12(日)

海上保安学校学生採用試験	高卒程度
インターネット受付期間	7/16(火)～7/25(木)
第一次試験	9/22(日)

2024年度
海上保安官募集

詳しくはこちら
東京 海上保安庁 第1課

